

2005（平成17）年3月22日

弁護士 坂和章平

<第1部> 司法通訳に求められるもの

第1 言葉、概念の説明（資料1、2、Aのとおり）

第2 どんなとき－どんな場合に通訳者が必要か。

- 1 逮捕、捜索の時
- 2 被告人面会の時（警察署・拘置所）
→本人からの事情聴取
- 3 法廷での手続の時
- 4 法廷での証人尋問の時

第3 弁護士の立場から通訳者に対する要望

- 1 刑事訴訟の手続の理解
- 2 発言を通訳するについては正確性が何より大切
- 3 意思疎通のキーマンとしての自覚
－被告人からの発言を弁護士にどう取りつぐか？
- 4 疑問点を質問してほしい（疑問点がないはずがない）

<第2部> 自己紹介

第1 都市問題

- ① 『実況中継まちづくりの法と政策』Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（資料3、4）
- ② 『注解マンション建替え円滑化法』
- ③ 『わかりやすい都市計画法の手引』
- ④ 『Q & Aわかりやすい景観法の解説』

第2 講義・講演など

- 1 愛媛大学集中講義「都市法政策」
平成11年から2年毎に実施
- 2 近畿大学特別講義「都市政策と法」
平成15年、16年実施
- 3 関西学院大学法科大学院（実務家教員）「都市法」
平成16年から実施
- 4 『いま、法曹界がおもしろい！』出版（平成16年5月）

第3 映画評論

- 1 『SHOW－HEYシネマルーム1～5』（資料5）
- 2 産経新聞『That'sなにわのエンタメ』（第1回～15回）
- 3 阪大青雲会『いま、法曹界が面白い！－モノ書きへの道－』
- 4 愛媛新聞『道標』（第1回～2回）（資料6、7）
- 5 「映画と法律」（資料8）
- 6 裁判員制度（資料9）

7 その他（資料10）

<第3部>社会問題

第1 世界情勢

- 1 イラクー初の民主選挙をどう考えるか？（05年1月30日）
- 2 アメリカブッシュ大統領の第2期政権をどう考えるか？（05年1月20日）
- 3 中国－胡錦濤体制と今後の見通し（04年9月15日～）
- 4 北朝鮮－① 核問題を巡る6者協議
6カ国協議の参加を無期限延長（05年2月18日）
② 拉致問題
③ ミサイル問題の考え方

第2 時事問題

- 1 NHK v s 朝日新聞
NHK特集「E T V 2 0 0 1 シリーズ戦争をどう裁くか
第2回 問われる戦時性暴力」番組改編問題（05年1月15日～）
→政治家の圧力問題か朝日新聞の誤報か
- 2 フジテレビ v s ライブドアによるニッポン放送株取得問題（05年2月10日～）
- 3 バラエティ法律番組をどう考えるか？「行列のできる法律相談所」

第3 戦後60年のテーマをどう考えるか？

- 1 小泉改革
 - (1) 第1次小泉内閣（01年4月発足）
 - ① 政治的側面
 - ② 経済的側面
 - ③ 法的側面
 - (2) 第2次小泉内閣（03年9月22日発足）
道路関係四公団民営化法成立（04年6月2日）
三位一体改革
 - (3) 第2次小泉改造内閣（04年9月27日発足）
郵政民営化
- 2 憲法改正問題がいよいよ現実化
- 3 戦後60年と映画
 - (1) 『北の零年』（吉永小百合11本目の出演作）
 - (2) 『ローレライ』（潜水艦に外れなし）

以上